

地域展開の方向性について

◇方向性 1 学校部活動としての活動量・活動内容の見直し

以下の 4 項目を中心に、部活動ガイドライン（平成 30 年 11 月策定）の見直しを行う。

(1) 活動量の適正化

→活動量が多いと回答した生徒が 3 割いることを踏まえ、**学校部活動 = 活動機会の最低保障**との整理の元、部活動としての活動量を見直す。

（資料 4 生徒アンケート（活動量と満足度）のクロスデータ参照）

(2) 子ども主体の自治的な活動への転換

→子ども自身の自己決定の機会を意図的に仕組み、実践を促すことで、主体性を育む。

(3) 顧問の関わり方を見直し

→複数顧問制及び輪番指導制への転換により学校部活動が担う役割を明確化

(4) 合同部活動の設置促進

→外部指導者や学生コーチの活用促進を図り、持続可能で質の高い活動機会や子どもの選択肢確保をめざす

◇方向性 2 多様なクラブ・スクール活動への生徒参加の円滑化

・クラブ・スクール情報を子ども・保護者に知ってもらう手段の確保（スポーツ振興課）

（市内クラブ・スクール情報の取りまとめ・発信の検討）

◇方向性 3 地域型クラブの立ち上げ・運営に対する支援

・総合型地域スポーツクラブの立ち上げ支援（スポーツ振興課）

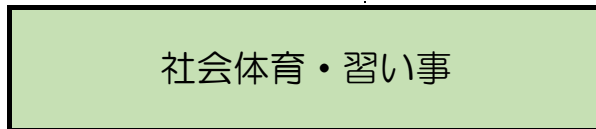
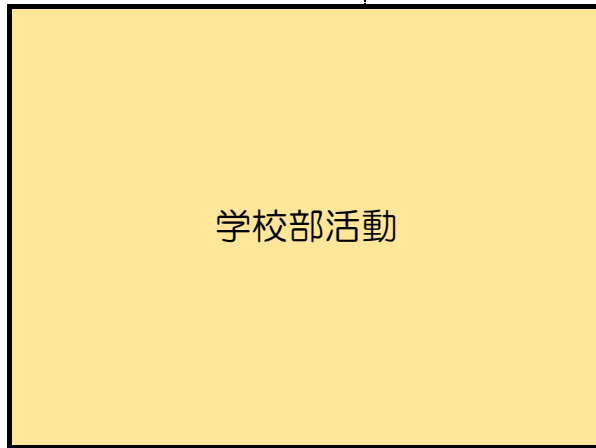
・地元中学生で構成された地域型クラブが学校施設を利用する場合の利用ルール等を今後検討

○佐賀市がめざす地域展開イメージ

【現状】

平日

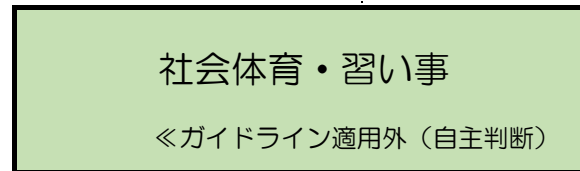
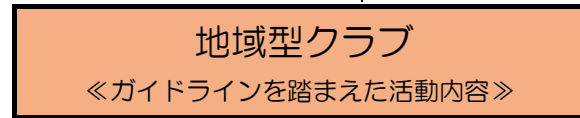
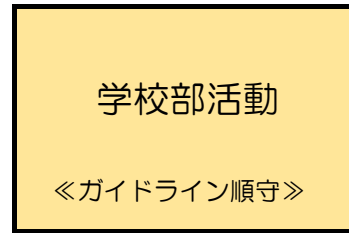
休日



【地域展開イメージ】

平日

休日



学校部活動としての活動量・活動内容の見直し

- ・活動量の適正化
- ・子ども主体の自治的な活動への転換
- ・顧問の関わり方を見直し
- ・合同部活動の設置促進

地域型クラブの立ち上げ・運営に関する支援

- ・総合型地域スポーツクラブの立ち上げ支援
- ・地元中学生で構成された地域型クラブが学校施設を利用する場合の利用ルール検討

多様なクラブ・スクール活動への生徒参加の円滑化

- ・クラブ・スクール情報を子ども・保護者に知ってもらう手段の確保